

Day

2

タイトル

5. アフリカにおける廃棄物管理に関する事例及び知見の共有
(2) スーダンと南スーダンの国境を越えた協力

発表者

スーダン国 環境・天然資源・都市開発省 廃棄物管理部 部長 Gosai Ahmed Mohammed
南スーダン国ジュバ市 環境管理部 部長 Diseremo Sebit John Amin

発表者は、スーダンと南スーダンの協力による廃棄物管理プロジェクトの経験について、以下のとおり説明した。

スーダンにおけるプロジェクトは、「ハルツーム州における持続可能な固形廃棄物管理(SWM)システムの改善」を全体目標とし、また「SWMが効果的および効率的になる」ことをプロジェクト目標として、2014年から2017年まで実施された。同プロジェクトには、住宅地域におけるパイロットプロジェクト、様々な利害関係者(作業員、コミュニティ、監督者)への研修、研修ツアーを含む意識啓発活動、各種設備の調達(収集車及び処分場の機材)と運転手・整備士・収集作業員に対する関連研修、設備のメンテナンス(例:収集車両)のための中央整備場の建設などの活動が含まれる。定時定点収集(不定期に多くの場所から収集する方法から、特定の収集場所での収集方法への移行)がプロジェクトによって導入され、廃棄物管理の改善と共に収集率の改善が確認された。

要約

南スーダンでのプロジェクトは、スーダンでのプロジェクトに引き続き、2017年から2018年に実施された。プロジェクト目標は、廃棄物管理システムの基礎情報(ごみ発生量、収集・運搬、中間処理、リサイクル、最終処分)の収集である。これらの情報は、ジュバにおける廃棄物のマスタープラン策定に向けた基礎資料となることが期待されている。プロジェクトの結果、ごみ収集率(4%)や不法投棄場所の広がりなどジュバの固形廃棄物管理の現状が明らかになった。これらの結果は、今後、問題解決の一助になると考える。南スーダンでのプロジェクトは、スーダンと南スーダン間の協力推進という要素も含まれている。研修ツアーを通じて南スーダンが、スーダン、特にハルツームにおける廃棄物管理システムを学ぶことが出来た。

参加者からのごみ収集料金に関する質問に対し、発表者は次のようにコメントした。

南スーダンのジュバでは、事業者から料金が徴収されている。法律により、ジュバ市議会が家庭からの収集料金徴収の権限を持っている。

ハルツーム州では、廃棄物管理コストの25%が料金徴収でまかなわれているが、現時点では、ハルツームにおける廃棄物サービスのレベルは十分とはいえない。このため、コストを全てカバーするような十分な料金徴収をすることが出来ていない。